

# 食料生産地域再生のための先端技術展開事業

## (Ⅲ. 福島県内水面漁業の復活に向けた種苗生産・供給技術に関する実証研究 H30～R2)

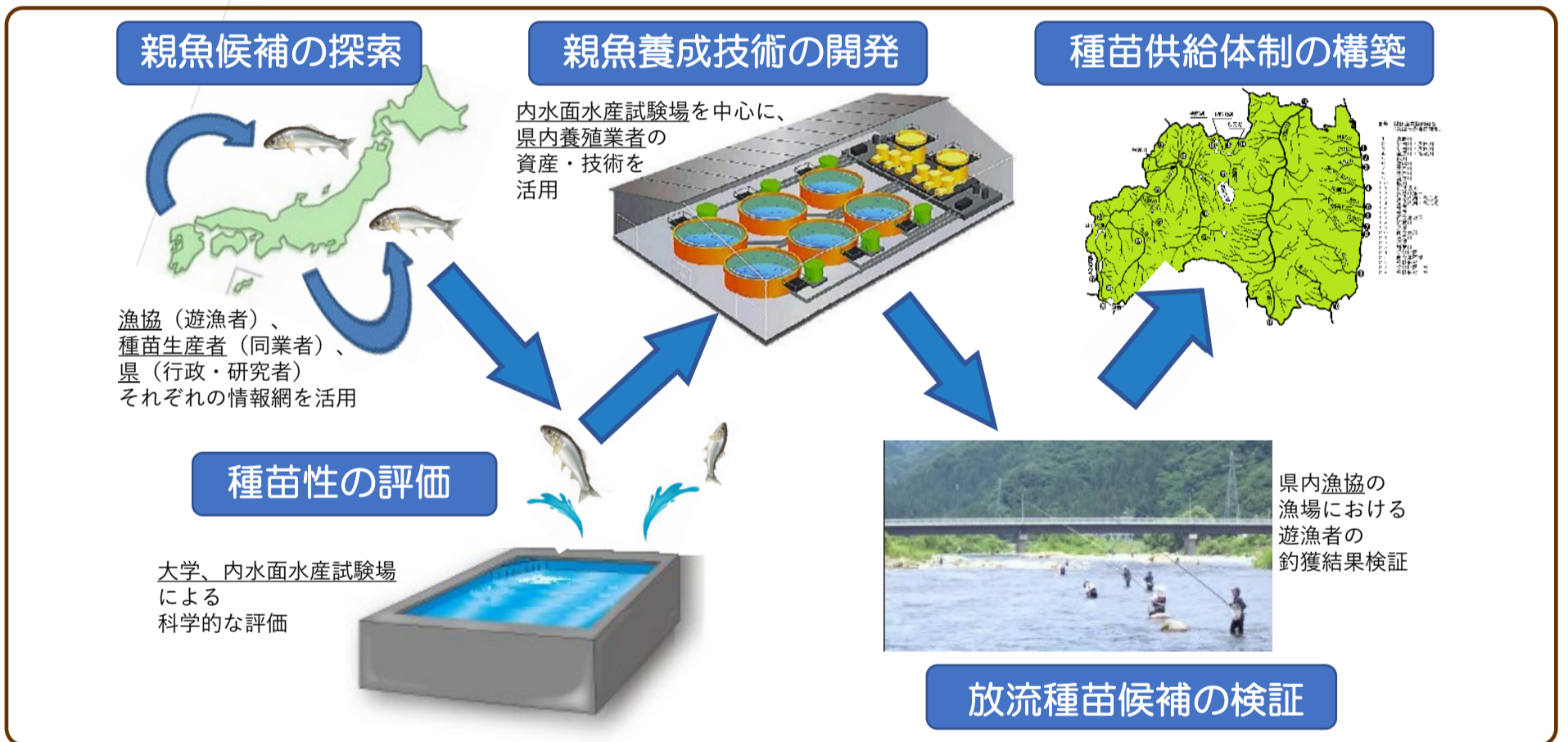
耐病性等優良な形質をもつアユ種苗を選抜し、その種苗生産・供給体制を確保できるよう、技術及び事業モデルを実証することで、高品質なアユにより内水面漁業を復活させ、福島県の震災からの復興を促進します。

### <背景>

- 震災以降、本県内水面漁業は大きく衰退
- 種苗放流費用が収益につながらない
- 漁協は経営面の不安から遊漁再開・拡大を進められない

### <課題>

- 放流効果の高い優良種苗の創出
- 低コスト種苗生産体制の確立



### 期待する効果

- 放流効果の高い優良種苗の造成
- 優良種苗の低コスト生産技術確立
- 効率的な種苗生産・供給体制の構築
- 放流効果の高い種苗の放流による漁協経営の安定化・向上

- 内水面漁業の振興
- 遊漁再開の促進
- 地域経済の活性化

### ○想定スケジュール

概要（内容）	実施者	H30	R1	R2	R3～	
○親魚候補の探索	・県、漁協 種苗生産者	県内・全国の優良種苗候補から選抜			生産種苗の 確定	優良種苗生産体制の確保 供給量の拡大 ↓ 効果的な種苗放流による内水面 漁業振興の促進
○種苗性の評価	・県、大学	導入候補の種苗の性質を評価				
○親魚養成技術の開発	・県、 種苗生産者	優良種苗に対応した低コスト生産技術の開発				
○放流種苗候補の検証・普及	・県、漁協	県内河川・湖沼での放流効果実証				
○種苗供給体制の構築	・県、漁協 種苗生産者	優良種苗に対応した低コスト生産体制モデルの構築				